

◆朝日新聞社賞◆

〈両部門にかかわる活動〉

「ブログを活用した学校の情報発信の取組」

鹿児島県肝属郡南大隅町立大泊小学校

〒893-2604 鹿児島県肝属郡南大隅町佐多馬籠595

■実践事例報告の概要

九州最南端の学校が取り組むブログによる情報発信である。このサイトでは、学校生活の日常をオープンに表現し、記事を読んで思わず、微笑み心安らぐような癒しの情報提供を心がけている。素朴な情報であっても、情報の更新頻度を高くして、新鮮さを保っており、南大隅町のファン作りにも役立っている。特に、児童が参加する「子ども記者」というコーナーでは、1年生から6年生まで全員が、日常の思いや行事の感想等を記している。

実践のねらい

- ①ブログを活用することで、ネットで情報を発信する際のマナーやエチケットを理解することができる。
- ②ブログによる新鮮な情報発信をすることで、より多くの方に本校の教育活動を見てもらうことができ、説明責任を果たす一つのツールとして活用できる。
- ③学校の情報のみならず、PTAや子ども会、校区の活動も取り上げ、九州最南端の地域情報を発信することで、外部とのコミュニケーションの手段として活用できる。

特徴・工夫・努力した点

本校のブログで特筆すべきは、「子ども記者」というカテゴリーを設け、1年生から6年生まで全児童が、日常の思いや行事の感想等を記している（写真）。これは、総合的な学習の時間における情報教育の一環としても位置付けている。子どもたちは、コメントをもらえるような記事の工夫をしたり、様子がよく伝わるような文章を心がけたりしている。

職員も教育活動がそのまま記事になっていくので、活動の内容を意識したり、学校内のさまざま

なことに目が向くようになってきた。

ブログの特長を生かし、QRコードを掲載し、携帯電話でいつでも見られるようにした。

実践内容

2006年5月、ブログ「佐多岬ウォータージュニア」を開設。子ども記者は10月から参加した。B & G財団のプログラムを活用した海での活動報告や地域の出来事、給食の献立など印象深かったことをこまめに紹介してきた。ここでは、学校生活の日常をオープンに表現し、記事を読んで思わず、微笑み心安らぐような癒しの情報提供を心がけている。

子ども記者の書き込みは総合的な学習の時間を利用している。

- ①ていねいな言葉を使う。
 - ②他人の批判や悪口にならないようにする。
 - ③個人が特定できないようにする。
- の注意点を確認し、下書きしたメモを入力していく。

実践結果

本校のブログは、総記事数1,450件、総アクセス数92,000件を超えている（2007/8/16現在）。



写真・2年生が1年生に輸入を教える

2006年11月には、『小学校の日常を綴った、先生と生徒、それをとりまく暖かい目、さまざまな活動を飾らない率直な表現で、自然と応援したくなる。小学校がブログというツールを活用してうまく情報発信しており、教育の現場がリアルに迫ってくるブログ』と評され、「2006年度 CANPAN 団体ブログ賞」を受賞した。

また、カテゴリーに設けた「地域と共に」は、80件余りの記事が紹介されており、学校と地域との連携した活動や地域の情報を取り上げている(資料)。特に、南端まちづくり活動など、南大隅町挙げて取り組んでいる活動を、画像を用いてわかりやすく紹介をした。「学校の情報公開」と「地域便り」が一体となっている。大泊出身者の方々にとっての郷土の最新情報源となっており、そのことで学校関係者と地域住民が共通の話題で語り合う機会も増えている。こういうことも評価され、2007年6月には、総務省九州総合通信局の「九州ウェブサイト大賞2007」優秀賞に選ばれた。

子どもにブログの良さを聞くと、「学校のことやいろんな行事を、日本だけでなく世界の人にまで、知ってもらえるので、どきどきします」と、その効果に大きな夢をもっている。6年生のA君は「体験したことをいろんな人に教えて、その返事が来るのがうれしい。家にパソコンがないので授業が楽しみ」と話す。ブログを見た校区の出身者からは、お盆に帰省するから子どもたちにぜひ会いたいという書き込みや、「受賞を機に学校も地域も元気になりますね。おめでとう！」のコメント

資料・画像を使って書いた初めての記事

キャンプで掃除 [2007年07月24日(火)]
 キャンプで大泊の海岸の掃除をしました。

**大泊の海岸へ
いくぞー**

そうじは、7時からでみんなねむたそうじにしています。たぶん、夜遅くに寝たんだと思います。☺

海岸に着くと、ゴミや木の枝などで、とても汚れていました。🌀
 時間も50分くらいしかなかったので、急いで掃除をしました。🌀
 みんな、先生が「やって」といったことを、きちんとやっています。👍

汗を流しながら、ちょっとふざけながらも、やっています。👍
 集めたゴミは、山にしてもやしました。👍👍
 時間が来たので、やめて、周りを見わたすと、まだ木などが残っていたけれど、掃除をする前よりきれいでした。👍👍
 海岸もきれいになったし、私たちの肌もスッパリしてよかったです。👍
 まだきれいにじゃないので、これからきれいにできたらいいと思います。👍👍

ントをいただいた。

ブログを始めてよかったことをまとめると、以下のようなことが挙げられる。

- ①全国の方とつながることで、子どもたちがより広い社会を認識する。
- ②教育活動における説明責任を果たす一つのツールとして有効である。
- ③注目されることで、学校や地域が元気になる。
- ④先生方が学校内外のさまざまなことに目が向くようになってきた。

考察（今後の課題）

ブログのよさを他の学校でも感じつつある。近隣の郡小、竹之浦小に続き、町の教育委員会もブログを開設した。今後は、小規模校同士の情報交換や子ども同士の連絡ツールとしての活用も考えている。あわせて、子ども記者の技術的、内容的な記事の向上も図りたい。

保護者には、おおむね好評ではあるものの、学校外部評価の中の、「学校では子どもに関するプライバシーが守られている」という設問に対する評価が低下してきている。個人情報の保護という観点での対応もしていきたい。